資料3-2

ネズミ被害によると思われる落鳥事例報告

東京都小笠原支庁

受託実施者
特定非営利活動法人 小笠原自然文化研究所

これまでの落鳥事例（4個体）

落鳥時期	落鳥個体	個体捕獲	検死結果、死因等
2022年11月	飼育No.2（♂）	2021年9月 母島	頭部の陥没と出血痕　肺にカビの一種
2023年 2月	飼育No.3（♂）	2021年9月 母島	肝臓の変色
2023年 3月	飼育No.4（♀）	2021年9月 母島	頭骸骨陥没
2023年 9月	**飼育No.8（♂）**	**2022年9月 姉島**	**クマネズミによる捕食の可能性**

屋外飼育施設での死亡確認

●状況確認

・**9/5**　秋繁殖を目指し、飼育No. 7（♀）と飼育No.8（♂）のペアを屋外飼育施設へ移送

※「オガサワラカワラヒワ域外保全　春・秋繁殖の結果と今後の方針」参照

・**9/6**　飼育管理作業において、飼育No.8（♂）の姿が確認できず

30分程度のモニター監視で姿が見えないため、飼育ケージ内に入り確認

カワラヒワの羽散乱、骨片、足環の脱落を確認（本体は確認できず）

ネズミの糞及び侵入経路と思われる痕跡の確認

●緊急対処

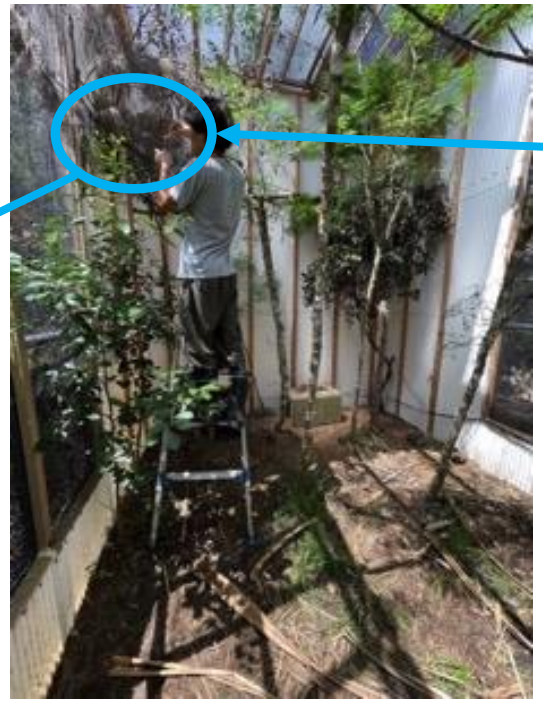
・**残存個体の移送**　　飼育No.7（♀）を屋内施設に移送

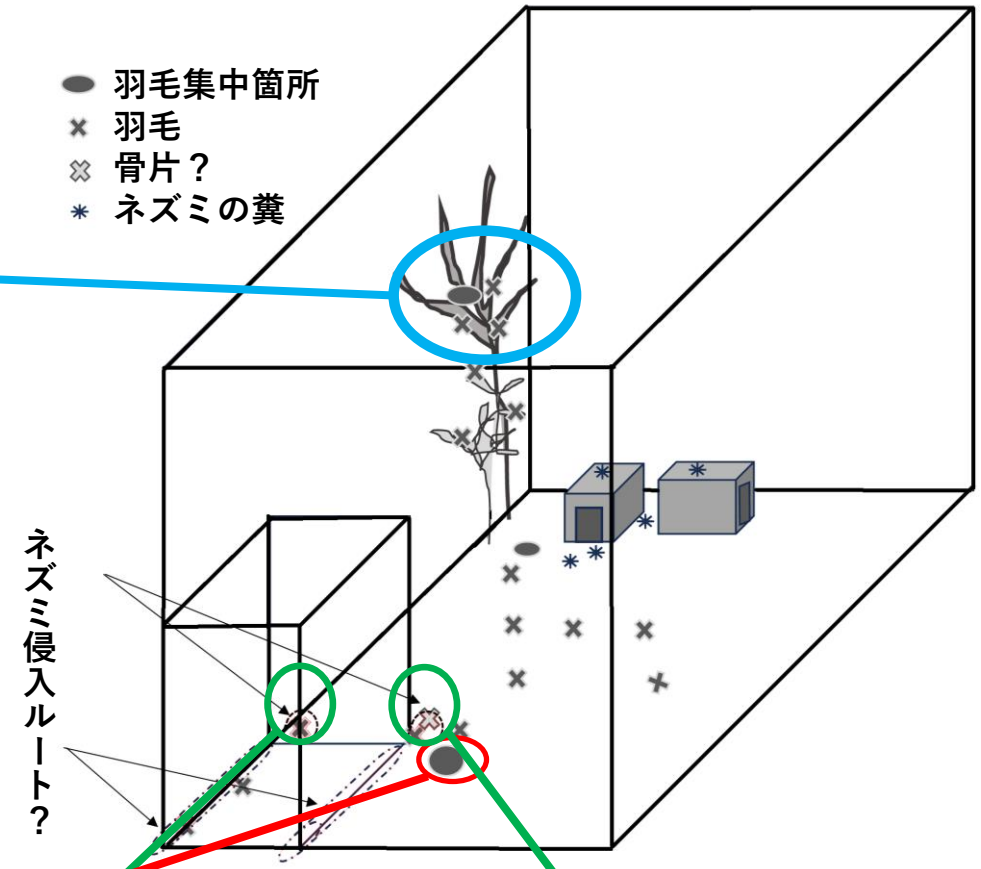
・**監視カメラの設置**　　ネズミ侵入状況の確認

・**カゴ罠の設置**　　ネズミ侵入個体の捕獲

屋外飼育施設内の状況

羽毛散乱(多)





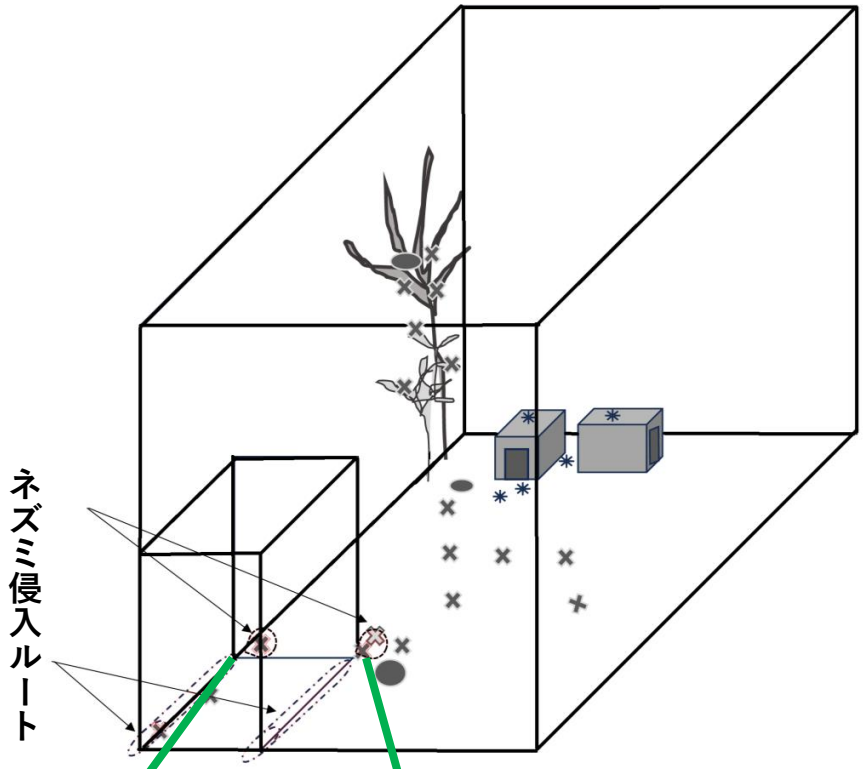
掻き出された
土砂

屋外飼育施設へのネズミ侵入

●カゴ罠設置(7個)

- **設置期間：**9/6～9/10
- **捕獲：**ケージ内（4頭）
  ケージ外（2頭）

ネズミ捕獲



ネズミ
侵入確認

●監視カメラ設置(5台)

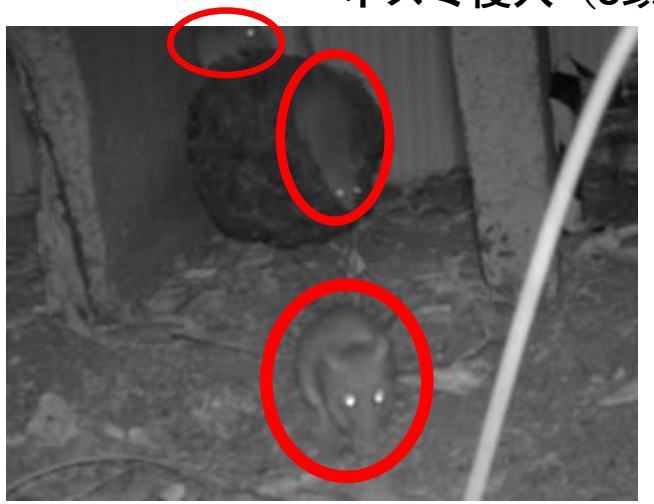
- **稼働期間**

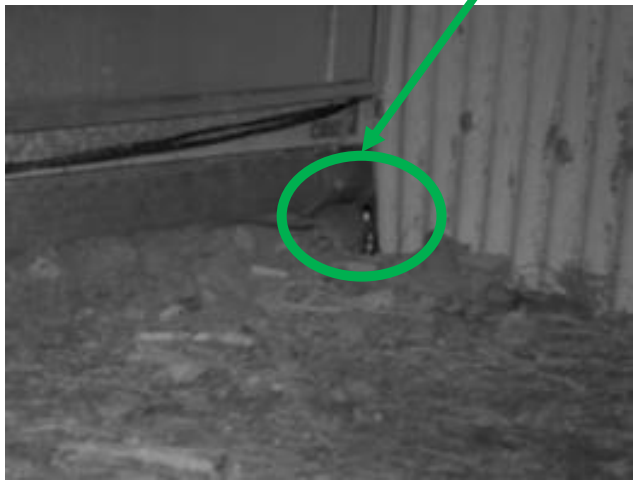
9/6～9/10(5台)

9/10～(2台)

継続中

ネズミ侵入（3頭）





クマネズミによる捕食が死因と推定

●死亡推定

9/6の飼育ケージ内の状況及びその後のカメラ、かご罠設置による状況確認より
以下の理由から、今回の落鳥原因はクマネズミが9/5~6の夜間に飼育ケージ内に侵入し、
カワラヒワのねぐらを襲い捕食したものと推定

・9/5の夕方までは飼育No.8（♂）が確認されている
・9/6の朝に飼育No.8（♂）が確認できず、カワラヒワの羽散乱、骨片、足環の脱落
・樹上2.5m程度の箇所に散乱した羽毛が集中
・9/5のカワラヒワ移送時点ではネズミの侵入痕跡なし
・9/6の朝にネズミの糞及び侵入経路と思われる痕跡あり
・9/6～8にケージ内へのクマネズミ侵入を確認（捕獲済み）

●今後の対応

捕獲したクマネズミは冷凍保存中で、直接証拠確認のため胃内容等の調査分析の依頼を検討中